

軟包装を製造するための“基準づくりと運用”で食の安心・安全を守ります

なんほうそう
軟包装って、
何なん？

薄いプラスチックフィルムなどに印刷、貼り合わせなどの加工をした複数の層でできている袋のことです。

貼り合わせ加工品は約0.1mm程度の厚さで、薄く・軟らかい形状となるため、「軟包装材料」と呼ばれています。

食品や医薬品を直接包むパッケージ(容器包装)です。

うすくて
軟らかい袋



基準づくりと運用
とは、何なん？

軟衛協キャラクター
「なんなん」



「衛生管理自主基準」の管理・運用を行なっています。衛生的で安全な材料の使用と、衛生的な製造管理の適正な製造基準を定めた自主基準です。

第三者機関※による診断を、原則3年ごとに行い、認定を更新します。 ※(一財)食品環境検査協会



軟衛協って、
何なん？

食の安心・安全への寄与を目的として、軟包装材料を製造する企業によって作られた業界団体です。

(1975年1月設立)

軟包装の衛生性に関わる情報発信と教育を行い、会員企業のレベル向上をめざしています。

活動・発信しています!

- ★軟衛協・技術セミナー(年2回開催)
- ★軟衛協会報(年2回発行)

衛生って、
とっても大切なん!

食品に直接触れる「軟包装」の製造・製品は、「衛生」とは切っても切り離せない関係です。食品衛生法を遵守した清潔な工場を維持管理し、製品の衛生性を追求しています。

人・モノの出入口は、準清浄度区域を保持するインターロック式です。作業者は、履き替え、手洗い・消毒設備や服装点検で持込異物をシャットします。



なんと!
SDGs達成にも
貢献!



食品ロスは、SDGs(持続可能な開発目標)の目標12「つくる責任 つかう責任」に関連しています。

乾燥しやすい食品や油分を含む食品の酸化を防止し、内容物を湿気から守り、耐光性を持たせています。

袋が開けやすい、中の食品が割れにくいなどの内容物に応じた機能も付与しています。食品を入れて販売した後も一定期間その機能を維持したまま店頭で販売できるから、消費されるまでの目的に応じて長期保存が可能になって、食品ロスも防いでいます。